

新十両 母校中



母校から贈られた化粧まわし、まわし、明け荷に感謝する矢後関



矢後関に 大から化粧まわし



大相撲で新十両へスピード昇進した中央大学OB(2017年・法学部卒)の矢後関(本名・矢後太規さん=尾車部屋)が9月1日、母校から「化粧まわし」「締め込み」「明け荷」の3点を贈られた。中大出身の関取誕生は2003年夏場所の魁道関以来14年ぶり。

贈呈式と激励会は東京・お茶の水の中大駿河台記念館で行われ、中大卒業生で同部屋の先輩でもある豪風関もお祝いに駆け付けた。

土俵入りで披露する化粧まわしは、スクールカラーの紺地に校章を銀糸で大きくあしらひ、下に中央大学と刻まれている。

酒井正三郎総長・学長から目録を贈呈されると、「中大の看板を汚さぬように頑張りたい」と決意表明。「触り心地がすごくいいです。立派です。感激しています」と謝意を表した。化粧まわしに触れたのは「初めて」という。

186㌢、176㌔の大きな体をいっばいに使った左四つ・寄りを得意とする。

アマチュア横綱(全日本選手権優勝、昨年12月)の出世は早く、幕下15枚目格付け出しからの2場所通過は先輩である豪風関や遠藤関、御嶽海関らに並ぶ史上12人目の最速記録だ。

初土俵は夏場所幕下15枚目格付け出しで5勝2敗。



記者会見に応じる矢後関

続く名古屋場所は7戦全勝で幕下優勝。

関心の高まりを示すように、この日の会場は約150人の支援者や中大相撲部関係者らで超満員。祝福され、激励された矢後関は「こんなにも応援していただいて、気持ちが高ぶります」と汗を拭きながら健闘を誓っていた。ざんばら髪が大銀杏となるのは来年3月頃だという。



□中大OBの現役力士は3人に

中大出身の現役力士は豪風関(成田旭さん・2002年卒)、一山本(山本大生さん・2016年卒)、矢後関の3人。

親方には片男波親方(松本良二さん・1994年卒)、大鳴戸親方(出島武春さん・1996年卒)の2人がいる。



2017年本誌「早春号」では表紙を飾った